

玄界環境組合地域 循環型社会形成推進地域計画

作成日	令和6年11月25日
-----	------------

変更日	
-----	--

1 計画の基本的な事項

(1) 基礎情報

ア. 対象地域

構成市町村等（作成者）名	古賀市、福津市、宗像市、新宮町、玄界環境組合						
地域内総人口（人）	258, 275						
地域総面積（km ² ）	233. 70						
地域の要件	人口	離島					
離島、豪雪、山村、半島、 過疎地域に該当がある市町 村名	離島：宗像市、新宮町						
地域の要件がその他の場合 は 具体的に記載							
構成市町村に一部事務組合等が含まれている場合、当該組合の状況							
組合名称 （設立（予定）年月日）	玄界環境組合 （設立 昭和42年3月31日）						
組合を構成する市町村	古賀市、福津市、宗像市、新宮町						
組合設立に関する、 今後の見通し							

イ. 計画期間

開始年月日	令和7年4月1日
終了年月日	令和12年3月31日
計画期間※	5年

※目標の達成状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要な場合には計画を見直すものとする。

(2) 対象地域における取組みに関する事項

ア. ごみ処理の広域化・施設の集約化の検討状況

福岡県は「福岡県ごみ処理の広域化及びごみ処理施設の集約化計画」（以下、県広域化計画という。）を策定し、県内を4エリアに分けてごみ処理の広域化・集約化を推進する方針を示している。当該地域は、福岡エリアとして位置づけられており、県広域化計画を踏まえエリア内でのごみ処理の広域化・集約化に向けた協議調整を図る方針である。現状においてはその過渡期にあり、組合が所管する2施設（古賀清掃工場、宗像清掃工場）の集約化を目指し、新たなごみ処理施設の整備計画を推進している状況にある。	
確認した都道府県の広域化・集約化計画の名称	福岡県ごみ処理の広域化及びごみ処理の集約化計画

イ. プラスチック資源の分別収集及び再商品化に係る実施内容

実施済の場合	実施地域	
	実施年度	
	実施方法	
	上記が④もしくは⑤の場合、その詳細	
実施予定の場合	予定地域	古賀市、福津市、宗像市、新宮町
	予定年度	令和17年度
	予定方法	①日本容器包装リサイクル協会への委託（プラ法32条のルート）
	上記が④もしくは⑤の場合、その詳細	
実施しない（予定）地域		
プラ要件化対象事業の実施		○
備考		施設整備を2期の循環型社会形成推進地域計画に渡り進めるため、実施予定年度を施設の竣工年度を含む2期目の計画目標年度（R17年度）とする。

ウ. 対象地域における一般廃棄物処理有料化の状況

有料化導入状況	①全ての構成市町村で導入済
上記が④の場合、その詳細	
未導入の構成市町村名	
有料化導入に向けた検討状況 ※全ての構成市町村で導入済の場合は記載不要	

エ. 対象地域における災害廃棄物処理計画の策定状況

策定状況	①構成市全てで策定済
策定済の構成市（計画の名称）	古賀市（古賀市災害廃棄物処理計画）、福津市（福津市災害廃棄物処理計画）、宗像市（宗像市災害廃棄物処理計画）、新宮町（新宮町災害廃棄物処理計画）
未策定の構成市（策定予定時期）	
備考	仮置き場の設定状況 古賀市：調査・検討中 福津市：一次仮置き場の候補地設定済み、二次仮置き場は調査・検討中 宗像市：調査・検討中 新宮町：調査・検討中

2 循環型社会形成推進のための現状と目標（一般廃棄物の処理）

（1）一般廃棄物の処理の現状と目標（全域）

本計画の計画期間中においては、廃棄物の減量化を含め循環型社会の実現を目指し、表1のとおり目標量について定め、それぞれの施策に取り組んでいくものとする。

表1 減量化、再生利用に関する現状と目標		現状	目標	
		令和5年度	令和12年度	現状比
①総人口（人）		258,275	264,323	2.3%
排出量	②事業系ごみ排出量（トン）	22,182	21,807	-1.7%
	③生活系ごみ排出量（トン）	53,822	53,642	-0.3%
	④1人1日当たりのごみ排出量（g/人日）	519	486	-6.4%
	その他排出量（トン）	14,265	14,682	2.9%
	⑤総排出量（トン）	90,269	90,131	-0.2%
	⑥1人1日当たりの排出量（g/人日）	955	934	-2.2%
再生利用量	⑦総資源化量（トン）	15,609	18,090	15.9%
	総排出量に占める総資源化量の割合	17%	20%	
最終処分量	⑧埋立最終処分量（トン）	1,165	1,159	-0.5%
	総排出量に占める埋立最終処分量の割合	1%	1%	
エネルギー回収量	年間の発電電力量（MWh）	33,280	32,207	
	年間の熱利用量（GJ）	0	0	
特記事項	・その他排出量には集団回収量、し尿処理汚泥等を含む。			

※ 別添資料として①～⑧に関する過去及び将来推計のトレンドグラフを添付する。

《用語の定義》 下記のとおり表1で用いる用語の定義を行う。

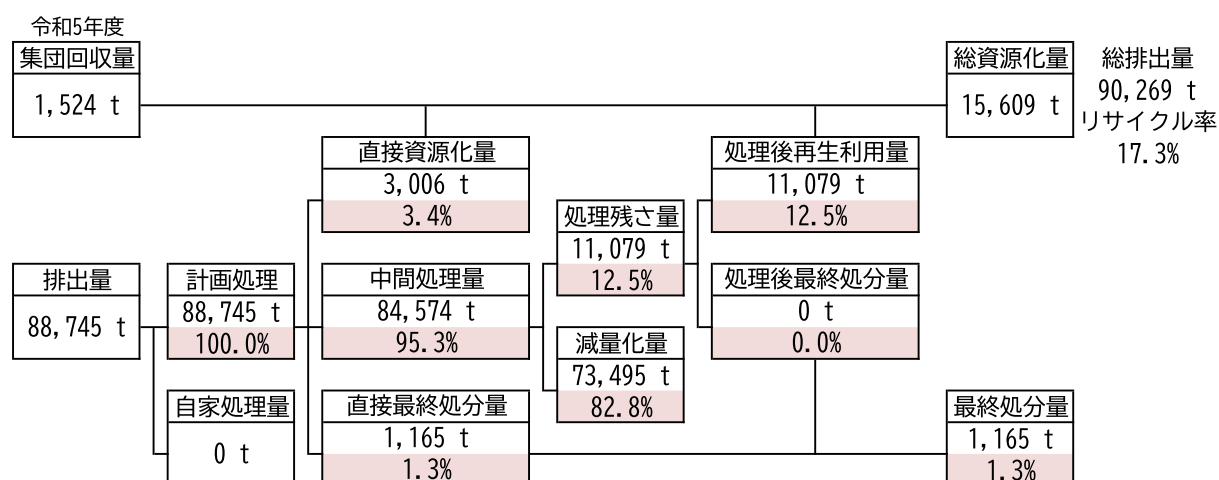
②③排出量：対象地域において出されたごみの量（資源含む。集団回収されたごみを除く）〔単位：トン〕 ※事業系・生活系それぞれで記載。
④1人1日当たりのごみ排出量：（生活系ごみ排出量－生活系資源ごみの量）*10 ⁶ /総人口/年間日数〔単位：g/人日〕
その他排出量：②、③に該当しない排出量〔単位：トン〕
⑤総排出量：②+③+（その他排出量）の和〔単位：トン〕
⑥1人1日当たりの排出量：⑤*10 ⁶ /総人口/年間日数〔単位：g/人日〕
⑦総資源化量：直接資源化量+中間処理後再生利用量+集団回収量の和〔単位：トン〕
エネルギー回収量：エネルギー回収施設において発電された年間の発電電力量〔単位：MWh〕及び熱利用量〔単位：GJ〕
⑧最終処分量：埋立処分された量〔単位：トン〕

予測・目標における数値のうち、②③④が増加予測となるものがある場合はその理由を記載

一般廃棄物処理計画と目標値が異なる場合に、地域計画と一般廃棄物処理計画との整合性に配慮した内容

（２）一般廃棄物の処理の現状と目標のフロー図（全域）

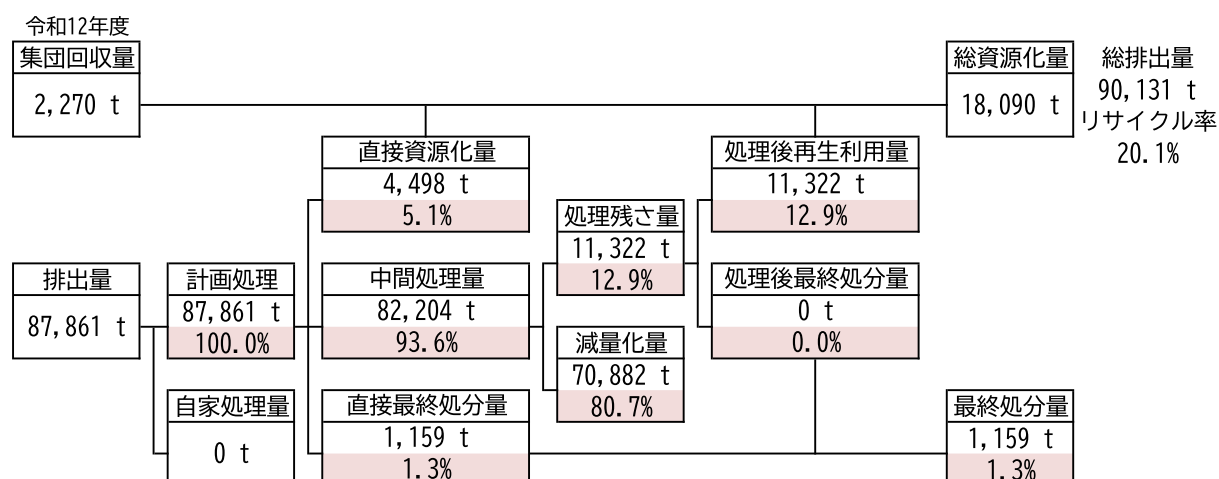
現状の一般廃棄物の処理状況フロー



※端数処理により割合・合計が合わないことがある。

※排出量にし尿処理汚泥等を含む。

目標達成時の一般廃棄物の処理状況フロー



※端数処理により割合・合計が合わないことがある。

※排出量にし尿処理汚泥等を含む。

(3) 各構成市町村の一般廃棄物の処理の現状と目標

古賀市		現状	目標	
		令和5年度	令和12年度	現状比
排出量	事業系ごみ排出量（トン）	6,156	5,894	-4.3%
	生活系ごみ排出量（トン）	12,388	12,610	1.8%
	その他排出量（トン）	2,110	2,066	-2.1%
	総排出量（トン）	20,654	20,570	-0.4%
再生利用量	総資源化量（トン）	3,053	3,487	14.2%
	総排出量に占める総資源化量の割合	15%	17%	
最終処分量	埋立最終処分量（トン）	462	487	5.4%
	総排出量に占める埋立最終処分量の割合	2%	2%	

福津市		現状	目標	
		令和5年度	令和12年度	現状比
排出量	事業系ごみ排出量（トン）	4,133	4,785	15.8%
	生活系ごみ排出量（トン）	15,672	17,432	11.2%
	その他排出量（トン）	4,115	4,242	3.1%
	総排出量（トン）	23,920	26,459	10.6%
再生利用量	総資源化量（トン）	4,932	6,183	25.4%
	総排出量に占める総資源化量の割合	21%	23%	
最終処分量	埋立最終処分量（トン）	218	219	0.5%
	総排出量に占める埋立最終処分量の割合	1%	1%	

宗像市		現状	目標	
		令和5年度	令和12年度	現状比
排出量	事業系ごみ排出量（トン）	8,569	8,269	-3.5%
	生活系ごみ排出量（トン）	19,317	17,505	-9.4%
	その他排出量（トン）	5,619	5,687	1.2%
	総排出量（トン）	33,505	31,461	-6.1%
再生利用量	総資源化量（トン）	6,461	6,539	1.2%
	総排出量に占める総資源化量の割合	19%	21%	
最終処分量	埋立最終処分量（トン）	448	398	-11.2%
	総排出量に占める埋立最終処分量の割合	1%	1%	

新宮町		現状	目標	
		令和5年度	令和12年度	現状比
排出量	事業系ごみ排出量（トン）	3,324	2,859	-14.0%
	生活系ごみ排出量（トン）	6,445	6,095	-5.4%
	その他排出量（トン）	2,421	2,687	11.0%
	総排出量（トン）	12,190	11,641	-4.5%
再生利用量	総資源化量（トン）	1,163	1,881	61.7%
	総排出量に占める総資源化量の割合	10%	16%	
最終処分量	埋立最終処分量（トン）	37	55	48.6%
	総排出量に占める埋立最終処分量の割合	0%	0%	

3 目標達成に向けた施策（一般廃棄物の処理）

（１）処理体制

ア．生活系ごみの処理体制の現状と今後

分別区分及び処理方法については、表2のとおりである。分別区分及び処理体制を大幅に変更するのは施設整備後（R15年度以降）なので、本計画の目標年度（R12年度）では体制の変更は予定していない。

現状の分別区分としては、可燃ごみ、粗大ごみ、資源ごみに大別される。資源ごみの詳細な分別区分については、構成市町間で統一が図れていない部分もあるため、施設整備に合わせて構成市町で分別区分の統一を図る方針である。また、現状は資源ごみの分別区分を細分化して定めているが、構成市町による分別区分の統一と合わせて、今後は細分化した分別区分の廃止を検討している。これは高齢化が進む中で、住民に過度な負担を強いることは正確な分別を妨げ、施設側で分別を行う方がリサイクル率の向上に寄与するためである。さらに、現在はプラスチック使用製品廃棄物の分別収集を実施していないため、令和17年度までに制度を導入できるように手法や体制の検討を進める。

可燃ごみは、古賀清掃工場及び宗像清掃工場で焼却処理し、減量化・減容化を行っている。今後は1施設に集約化することで、より効率的なごみ処理体制を構築する。また、集約化した施設はエネルギー回収型廃棄物処理施設とし、焼却時に発生する余熱を効率よく発電に利用することで、施設の消費電力として活用しながら、余剰電力については電力会社に売却し有効活用を図る。

収集した資源ごみの処理も現状は古賀清掃工場と宗像清掃工場の2施設で対応しており、こちらも1施設に集約化することで効率的なごみ処理を推進する。

ごみの排出量及びリサイクル率については、各市町の一般廃棄物処理基本計画をもとに、ごみの発生抑制・分別の徹底を推進する。

イ．事業系ごみの処理体制の現状と今後

事業系ごみについては、可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみを各施設で受け入れて処理を実施している。事業系ごみの分別区分も各市町で独自に設定しているため、生活系ごみの分別区分の変更に合わせて、新施設に搬入する事業系ごみの区分についても整理し統一化を検討する。

また、今後も事業者に対してごみの発生抑制、資源化に関する指導を継続することで、事業系ごみの削減を図るとともに、その上で発生する可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみについては、ごみ処理施設で適切な処理を実施する。

ウ．一般廃棄物処理施設であわせて処理する産業廃棄物の現状と今後

現状は古賀清掃工場及び宗像清掃工場、下水道汚泥の焼却処理を行っており、今後整備する一般廃棄物処理施設でも継続して処理を行う予定である。

（２）処理施設等の整備

上記（１）の今後の分別区分及び処理体制で処理を行うため、必要となる施設整備の一覧を表3-A及び表3-Bに、施設整備のために必要な計画支援事業等を表4に示す。また、参考として現有施設の一覧を表5に示す。

表2 玄界環境組合各市町の生活系ごみの分別区分と処理方法の現状と今後

現 状 (R5年度)				今 後 (R12年度)			
古賀市		福津市		宗像市		新宮町	
分別区分	処理方法	処理施設等	分別区分	処理方法	処理施設等	分別区分	処理方法
可燃ごみ	焼却	古賀清掃工場	可燃ごみ	焼却	古賀清掃工場	燃やすごみ	焼却
粗大ごみ	リサイクル	古賀清掃工場 福津市不燃物処理場	粗大ごみ	リサイクル	古賀清掃工場	粗大ごみ	リサイクル
びん			びん			びん	
ガラス			ガラス			ガラス	
飲料缶			飲料缶			缶	
金属混合物			金属混合物			金物	
蛍光灯		古賀清掃工場	蛍光灯		古賀清掃工場	蛍光灯	
乾電池			乾電池			乾電池	
ペットボトル	リサイクル		ペットボトル	リサイクル		ペットボトル	リサイクル
プラスチック製容器包装			プラスチック製容器包装 食品用トレイ			容器包装プラスチック(発泡トレイを含む)	
			白色トレイ(発泡)				
梱包材		古賀清掃工場					
			発泡スチロール			発泡スチロール	
紙パック		古賀清掃工場	紙パック			紙パック	
スプレー缶			スプレー缶 カセットボンベ		古賀清掃工場		



R12年度時点では現状と同様であるが、R15年度の施設稼働後に変更する。

現 状 (R5年度)											
古賀市			福津市			宗像市			新宮町		
分別区分	処理方法	処理施設等	分別区分	処理方法	処理施設等	分別区分	処理方法	処理施設等	分別区分	処理方法	処理施設等
古紙			ライター		古賀清掃工場						
		委託	古紙、古着		委託	新聞紙					
						雑誌・雑紙					
						ダンボール					
廃食用油											
						古布		委託			
						羽毛ふとん					
						使用済み天 ぷら油					
	委託			委託							
小型家電			小型家電		委託	使用済み小 型電子機器			小型家電	リ サイ クル	古賀清掃工場
剪定枝等		委託	剪定くず、 草等		委託						
陶磁器	埋立	古賀市不燃 物埋立地	陶磁器類	埋立	福津市不燃 物処理場	陶磁器	埋立	宗像市不燃 物埋立処理 場	陶磁器	埋立	新宮町不燃 物処理場

R12年度時点では現
状と同様であるが、
R15年度の施設稼働
後に変更する。

表3-A マテリアルリサイクル推進等のための整備事業

事業番号	1				
施設名称	新ごみ処理施設 (仮称) 玄界環境 組合リサイクルセン ター)				
事業主体	玄界環境組合				
工種	新設工事				
事業目的 (新設・改良等の理由)	現状の2施設を集約化す ることで、効率的なご み処理を実現するた め。 また、プラスチック使 用製品廃棄物の圧縮梱 包や保管等に必要な設 備の整備も検討してい るため。				
施設種別	リサイクルセンター				
処理方式	破碎、選別、圧縮、 圧縮梱包、保管等				
処理能力(単位)	59.3 (t/日)				
事業期間	R10年度～R14年度				
竣工(事業完了) 予定年月	R15.3				
設置予定地 ※検討中の場合は「未 定」	未定				
想定される浸水深 ※未定の場合は記載不要					
浸水対策					
環境省所管(循環交付金 等)の活用を予定 ※「○」の場合は以下の項目 を記載すること	○				
国土強靱化地域計画 (計画の名称)	—				
プラ要件化の 経過措置の適用	—				
プラ施設整備事業	○				
CO2削減率 ※改良事業の場合	—				
スラグの利用計画 ※灰溶融施設を整備する場合	—				
ストック対象物 ※ストックヤードを整備 する場合	・乾電池 ・蛍光灯 ・小型家電 等				
備考					

表3-B エネルギー回収等のための整備事業

事業番号	2				
施設名称	新ごみ処理施設 (仮称) 玄界環境 組合クリーンセン ター)				
事業主体	玄界環境組合				
工種	新設工事				
事業目的 (新設・改良等の理由)	既存施設の老朽化を 受け、集約化した施 設で可燃ごみ等を効 率的に広域処理する ため。				
施設種別	ごみ焼却施設(エネ ルギー回収あり)				
型式及び処理方式	全連続燃焼式 処理方式未定				
処理能力(単位)	293(t/日)				
事業期間	R10~R14				
竣工(事業完了) 予定年月	R15.3				
設置予定地 ※検討中の場合は「未 定」	未定				
想定される浸水深 ※未定の場合は記載不要					
浸水対策					
環境省所管(循環交付金 等)の活用を予定 ※「○」の場合は以下の項目 を記載すること	○				
国土強靱化計画への記載 (計画の名称)	—				
プラ要件化の経過措置	—				
エネルギー回収率 ※発電・熱回収がある 場合	20.5%以上				
余熱利用の計画	—				
外部供給における利活 用の概要	—				
CO2削減率 ※改良事業の場合	—				
燃料の利用計画 ※ごみ燃料化施設を整 備する場合	—				
バイオガス熱利用率 ※バイオガス化施設を 整備する場合	—				
バイオガスの利用計画 ※バイオガス化施設を 整備する場合	—				
備考					

エネルギー回収のありなしに関わらず、焼却施設を環境省所管の交付金等を活用し、整備する場合は下記を記載					
計画1人1日平均排出量 (g)	629g				
計画収集人口 (人)	265,469人				
計画直接搬入量 (t/日)	44.75t				
計画年間日平均処理量 (t/日)	212t/日	t/日	t/日	t/日	t/日
通知に基づく施設規模 (計画1人1日平均排出量×計画収集人口 +計画直接搬入量)÷実稼働率	266t/日	t/日	t/日	t/日	t/日
災害廃棄物処理計画への受入の記載有無	○				
災害廃棄物処理量 (見込み%)	10%				
災害廃棄物処理量を見込んだ通知に基づく施設規模	293t/日	t/日	t/日	t/日	t/日
適切な施設規模よりも大きいまたは小さい施設規模で整備する場合					
備考					

表4 施設整備に関する計画支援事業等

事業番号	①				
関連する本体事業の番号	1,2				
事業名	施設整備に関する計画支援事業				
事業主体	玄界環境組合				
事業目的	(仮称) 玄界環境組合クリーンセンター及びリサイクルセンター整備工事のため				
事業概要	・施設整備基本計画 ・測量 ・地質調査 ・PFI導入可能性調査 ・事業者選定 ・造成基本設計、実施設計 ・生活環境影響調査				
環境省所管（循環交付金等）の活用を予定 ※「○」の場合は以下の項目を記載すること	○				
プラ要件の経過措置	—				
プラ施設整備事業	○				
備考					

表5 現有施設一覧

施設種別	焼却施設	焼却施設	不燃ごみ、粗大ごみ処理施設、リサイクルセンター	不燃ごみ、粗大ごみ処理施設、リサイクルセンター	最終処分場	最終処分場	最終処分場
施設名	古賀清掃工場 焼却施設	宗像清掃工場 ガス化溶融炉施設	古賀清掃工場 リサイクルプラザ	宗像清掃工場 リサイクルプラザ	古賀清掃工場 最終処分場	宗像清掃工場 埋立処分地施設	古賀市 不燃物埋立地
施設所有主体	玄界環境組合	玄界環境組合	玄界環境組合	玄界環境組合	玄界環境組合	玄界環境組合	古賀市
型式及び処理方式	キルン式ガス化溶融方式	シャフト式ガス化溶融方式	機械選別及び手選別、圧縮梱包	資源・不燃ごみの 破碎、選別、圧縮・梱包	クローズド方式	クローズド方式	準好気式埋立構造
処理能力（単位）	260（t/日）	160（t/日）	48（t/5h）	40（t/5h）	11,505(m³)	9,340(m³)	25,381(m³)
エネルギー回収の有無	有	有	－	－	－	－	－
竣工年月	H14.12	H15.6	H15.4	H15.6	H15.2	H15.6	S62
廃止又は休止（予定）年月	R15.4 休止予定	R15.4 休止予定	R15.4 休止予定	R15.4 休止予定	R14年度 埋立終了予定	R14年度 埋立終了予定	R59年度 埋立終了予定
施設所在地	古賀市篠内1970-1	宗像市池浦600-1	古賀市篠内1970-1	宗像市池浦600-1	古賀市篠内1970-1	宗像市池浦600-1	古賀市青柳町285-43
想定される浸水深	浸水深0.0m	浸水深0.0m	浸水深0.0m	浸水深0.0m	浸水深0.0m	浸水深0.0m	浸水深0.0m
浸水対策							
交付金を活用した解体を実施する場合、その交付条件	関連性・連続性の解体	関連性・連続性の解体					
廃焼却施設解体事業 着手（予定）年月 完了（予定）年月	未定	未定					
	未定	未定					
関連する新設事業番号 ※表3の事業番号	2	2	1	1			
備考	古賀清掃工場と宗像清掃工場のどちらで交付条件を利用するかは未定である。	古賀清掃工場と宗像清掃工場のどちらで交付条件を利用するかは未定である。					

表5 現有施設一覧

施設種別	最終処分場	最終処分場	最終処分場	最終処分場			
施設名	福津市 不燃物処理場	宗像市 不燃物埋立処理場	大島一般廃棄物最 終処分場	新宮町 不燃物処理場			
施設所有主体	福津市	宗像市	宗像市	新宮町			
型式及び処理方式	安定型埋立	準好気性埋立構造	準好気性埋立構造	嫌気性埋立構造 サンドイッチ方式			
処理能力（単位）	33,983(m ³)	158,340(m ³)	3,560(m ³)	2,845(m ³)			
エネルギー回収の有無	－	－	－	－			
竣工年月	S58	S51.5	H10.4	S58			
廃止又は休止（予定）年月	R20年度 埋立終了予定	R34年度 埋立終了予定	R30.3 埋立終了予定	R45年度 埋立終了予定			
施設所在地	福津市本木 2298番地外	宗像市河東 1741-1	宗像市大島 1951	新宮町大字の野 710-1			
想定される浸水深	浸水深0.0m	浸水深0.0m	浸水深0.0m	浸水深0.0m			
浸水対策							
交付金を活用した解体を 実施する場合、その交付 条件							
廃焼却施設解体事業 着手（予定）年月 完了（予定）年月							
関連する新設事業番号 ※表3の事業番号							
備考							

6 関連するその他の施策

(1) 地域の循環型社会を形成する上で、次の施策を実施していく

ア ごみ減量・リサイクル促進のための施策内容

ごみの戸別収集制度等の導入を検討し、住民がより分別に取り組みやすいごみ処理体制の構築を目指す。また、施設稼働年度までの実施を検討している資源ごみの分別区分の縮小及び統一により、住民に負担をかけないごみ処理体制を導入することで、住民が主体となるリサイクルの推進を行う。これに合わせて、構成市町でもごみ処理施設集約化に向けたごみの減量・分別のあり方について、十分な連携を図りながら検討を進める。

現状の分別方法や今後整理される分別方法を周知するために、学校等における出前授業の実施やホームページ、広報誌及びごみ処理施設における啓発活動を推進する。

生ごみの削減を図るため、食品ロス対策、生ごみ処理容器の設置、生ごみの水切り等を推進する。

高齢者の支援、拠点回収の推進及び個人間の不用品取引の活用などのその他の取り組みも検討しつつ、ごみの減量化及び資源回収量の増加に努める。

イ プラスチック資源に関する施策内容

玄界環境組合の構成市町では、要件となるプラスチック資源のうち容器包装プラスチックの資源化のみを実施している。「プラスチック使用製品廃棄物の分別収集及び再商品化」については、制度導入を進めるために検討を行っている段階である。現段階では、容器包装リサイクル法に基づき、容器包装プラスチック以外のプラスチック使用製品廃棄物についても、容器包装プラスチックと同様に分別・圧縮後に指定法人に引き渡す方法を採用する予定である。

そして、プラスチック製品廃棄物の分別収集を実施することで、住民のプラスチック資源のリサイクルに関する意識を高める。また、これまでに実施してきたマイバッグの使用促進やプラスチック代替商品の使用を促す啓発を継続することで、資源循環の促進を図る。

ウ ごみ処理手数料有料化の実施内容

全ての構成市町でごみ処理の有料化を実施しており、生活系可燃ごみは指定ごみ袋制で収集し、粗大ごみについてはシールによる有料収集を行っている。また、事業系ごみ及び施設への直接搬入についても、ごみ処理料金を徴収している。既にごみ処理の有料化は導入済みであるが、今後のごみ排出状況の動向を踏まえたうえで、更なるごみ減量化及び資源化の推進を図るため、必要に応じて料金の見直し等を検討する。

エ リチウム蓄電池に関する対策

玄界環境組合の構成市町では、電池（リチウム蓄電池を含む）の分別収集及び電池を含む場合のある小型家電の分別収集を行っている。また、構成市町内の販売店や市町の役場等に設置されている回収ボックスの利用も推進しており、火災事故を未然に防止するため、今後も取り組みを継続する。

オ 事業系ごみに関する施策内容

事業系ごみの適切な排出を促すために、パンフレットの配布やホームページ上での情報公開による啓発活動を通して、継続的に事業者働きかける。ごみ処理施設では適宜展開検査を実施し、計量棟やプラットフォーム内で搬入されたごみの確認及び指導を行う。

また、一定量以上のごみを排出する多量排出事業者に対しては、今後も減量に関する計画書等の提出を求めることで、排出事業者への指導強化及び減量化・分別意識の向上を図る。さらに、必要に応じて、事業所における直接指導も検討する。

カ 災害時の廃棄物処理に関する事項

玄界環境組合の各構成市町では、それぞれ災害廃棄物処理計画を策定しており、それらの計画に基づき災害廃棄物の処理体制構築、仮置き場候補地の調査・検討及び各種対策の推進を行っている。甚大な災害が発生した場合には、玄界環境組合単独で処理することが困難となるごみ量の発生が予測される。その際には、各種協定に基づき支援を要請しつつ、国及び県の協力を得ることで広域的な処理体制を構築し、早期に復旧・復興を図る。

また、構成市町や周辺地域が被災した際の災害廃棄物についても処理可能となるように、災害廃棄物の処理を見込んだ新たなごみ処理施設を整備する。

7 計画のフォローアップと事後評価

(1) 計画のフォローアップ

玄界環境組合構成市町は、計画の進捗状況を把握し、その結果を公表するとともに、必要に応じて、構成市町、福岡県及び国と意見交換をしつつ、計画の進捗状況を勘案し、計画の見直しを行う。

(2) 事後評価及び計画の見直し

計画期間終了後、処理状況の把握を行い、その結果が取りまとまった時点で、速やかに計画の事後評価、目標達成状況の評価を行う。また、評価の結果を公表するとともに、評価結果を次期計画策定に反映させるものとする。なお、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じ計画を見直すものとする。

総括表（交付期間における各交付対象事業の概算事業費）

事業種別		事業番号	事業主体 名称	規模	事業期間		交付金交付 期間	総事業費（千円）		交付対象事業費（千円）						備考	
					開始	終了		複数計画 合算費	現計画での 総事業費	複数計画 合算費	合計	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		令和11年度
マテリアルリサイクル推進等のための整備事業																	
		1	玄界環境組 合	59.3 t/日	R10	R11		6,040,000	4,000	5,427,000	0	0	0	0	0	0	
																	全体の事業期間：R10～R14
エネルギー回収等のための整備事業																	
		2	玄界環境組 合	293 t/日	R10	R11	R10 R11	46,304,202	1,657,618	24,025,995	1,023,081	0	0	0	1,023,081	0	
																	全体の事業期間：R10～R14
計画支援事業等																	
		①	玄界環境組 合		R7	R10	R10 R7	0	297,343	0	297,343	10,261	157,867	109,315	19,900	0	
合 計								52,344,202	1,958,961	29,452,995	1,320,424	10,261	157,867	109,315	1,042,981	0	